

—未来の生物地理学を切り拓くためには、現在我々の手元に何があって何が足りないのか—

分類学会連合第9回公開シンポジウム

生物地理学の未来を考える

日時：2010年1月9日（土）13:30～17:30

会場：国立科学博物館新宿分館

プログラム

渡辺勝敏（京大・理・動物生態）

「淡水魚の分子系統地理の現状と今後の展開」

広瀬大（日大・薬）

「樹木と共に生きる菌類の生物地理学—生態学的アプローチによる展開」

田中克彦・藤倉克則・山本啓之・丸山正（JAMSTEC）

「海洋生物の分布データベース—現状と可能性」

松岡廣繁（京大・理・地鋳）

「琉球列島の特異な地史と生物地理」

加藤雅啓（科博・植物）

「植物分類学者から見た生物地理」

主催：日本分類学会連合（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ujssb/>） 共催：国立科学博物館